



現状・課題

情報発信の認知度が低く、わかりにくいいため、市民が主体的に行うべき部分が伝わらない

Society5.0などの技術革新

就職、進学を理由とした市外転出、戻らない

市民に身近な行政に対するニーズの増加

少子高齢化の進展、災害など

以前の委員ヒアリング等で出された
まちづくりに向けたキーワード

- 持続可能
- 地域力・つながり
- 自然を活かす
- 郷土愛
- コンパクト+ネットワーク
- 人財育成
- 安全・安心
- 今ある資源の有効活用
- 交流・連携
- 産業

「住んで良かった、住み続けたい」魅力あふれるまち いわき にしていく

共創力の強化

1、わかりやすい情報共有のしくみ

- ◇「知る努力」と「伝える努力」

2、まちづくりを自分ごと化するしくみ

- ◇つながり・広がり
- ◇郷土愛の醸成
- ◇「動きたい」を形にする

ひと・まち・しごとづくりの充実強化

- ◇人を呼び込む
- ◇コンパクト+ネットワーク
- ◇郷土愛の醸成
- ◇今ある資源の有効活用

暮らしに寄り添う行政サービスの充実強化

- ◇持続可能
- ◇安全・安心

① 共創力の強化

1 わかりやすい情報共有のしくみ

方向性	「知る努力」と「伝える努力」
主な取組み (視点)	<ul style="list-style-type: none">■ 意識改革、意識醸成■ 企業、団体等との連携■ 地域の活力向上■ 組織・体制の連動■ 学年・世代等に応じた伝え方・かかわり方

2 まちづくりを自分ごと化するしくみ

方向性	つながり・広がり、郷土愛の醸成、動きたいを形にする
主な取組み (視点)	<ul style="list-style-type: none">■ 意識改革、意識醸成■ 企業、団体等との連携■ 地域の活力向上■ 分野、領域のつながり■ 学年・世代等に応じた伝え方・かかわり方■ スモールステップ(できることから)



②ひと・まち・しごとづくりの充実強化（挑戦・攻め）

方向性

人を呼び込む、コンパクト+ネットワーク、
郷土愛の醸成、今ある資源の有効活用

主な取組み （視点）

- UIJターンの促進
- 子育て施策の更なる充実
- 多文化共生の推進
- 人、施設、交通を集中させる取組み
- 企業、団体等との連携
- 産業・雇用の創出と発展
- 組織・体制の連動

【現時点での主な取組み例】

- 人づくり・郷土愛
- 多文化共生（外国人対応、インバウンド等）
- 健康づくりの推進
- 次世代エネルギー社会の構築
- Society5.0の社会への導入
- 国際スポーツ大会のレガシー
- 現行の創生総合戦略の17PJ（見直し）等



③暮らしに寄り添う行政サービスの充実強化（対応・守り）

方向性

持続可能、安全・安心

主な取組み
(視点)

- 自然環境を守る
- 地域の担い手の育成
- 世代、地域のつながり
- スマート化・シェア化
- 防災・減災・克災

【現時点での主な取組み例】

- 地域の実情に応じた行政サービス
- コンパクト+ネットワーク(立地適正化等)
- まちづくりの担い手確保
- 安全・安心（災害に強いまちづくり等）
- 中山間地域等のセーフティネット
- 業務の効率化（Society5.0活用等） 等